

総合戦略の見直し案

(関係部分の抜粋)

3. 積極戦略

(1) しごとで活力を「つくる」

《基本的方向》

生産性の向上や商品・サービス等の高付加価値化¹、国内外への販路拡大を図るため、新事業・新産業の創出や事業経営への支援、人材の確保などに取り組むほか、商業・サービス業、ものづくり産業²、農林水産業など、それぞれの産業の活性化を図り、地域産業の競争力強化を進めます。

また、若い世代の雇用拡大が期待される創業・第二創業³への支援、企業立地の推進や、女性や高齢者等の活躍促進などに取り組み、若い世代をはじめとする雇用機会の拡大に努めます。

《主な施策と重要業績評価指標（KPI）》

(1) 地域産業の競争力強化（業種横断的取組）

① 新事業・新産業創出の支援

- ・健康・環境分野における企業間・産学間等の事業化支援
- ・デザイン等のクリエイティブ産業⁴の育成支援と集積促進
- ・市が保有する統計・地理情報等のオープンデータ化⁵の推進

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
新たなビジネス展開に取り組む事業者数	8事業者（H26）	5年間で50事業者

② 経営改善の支援

- ・経営基盤の安定・強化に向けた融資制度の拡充
- ・事業承継・第二創業に取り組む事業者等の支援

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
産業振興、創業支援、新事業展開支援資金の利用件数	1,317件（H26）	1,350件

③ 人材の確保

- ・首都圏等のクリエイティブ人材の誘致
- ・UIJターン人材の確保支援 **県外で開催される企業説明会等へ参加する事業者の支援**
- ・産学官連携による若者の地元定着の推進

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
首都圏等からのクリエイティブ人材の移住者数	—	4年間で40人

¹ 価格が高くても購買客に満足を与えるだけの価値を与えること。

² 主に製造業

³ 既に事業を営んでいる事業者が、業態転換や新規事業に進出すること。

⁴ デザインをはじめ、映像・ゲーム等のコンテンツ（メディアが記録・伝送し、人間が観賞するひとまとまりの情報）など、個人の創造性や技術、才能に由来する知的ノウハウを活用した商品・サービスを生産する産業

⁵ 地方公共団体等が保有する公共データを、市民や企業等が利活用しやすいように機械判読に適した形式で、二次利用可能なルールの下で公開すること。

(2) 地域産業の競争力強化（分野別取組）

① 商業・サービス業の活性化

- ・商店街等の活性化に対する支援
- ・リノベーション⁶など空き店舗等の再生を担う人材の育成

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
空き店舗等の再生などによる新規就業者数	—	4年間で40人

② ものづくり産業の活性化

- ・国内外での展示会や商談会等への出展等、販路拡大への支援
- ・人材や後継者の育成のための支援

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
本市の事業活用による商談成約件数	11件（H26）	5年間で60件

③ 農林水産業の活性化

- ・本市農産物等を活用した6次産業化⁷の推進
- ・新規就農者の育成

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
本市支援による新規就農者数	5人（H26）	5年間で25人

(3) 若い世代をはじめとする雇用機会の拡大

① 創業、第二創業への支援

- ・インキュベーション⁸施設の機能強化
- ・新規創業者等の育成支援

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
本市支援による新規創業者数	36者/年	5年間で180者

② 企業立地の推進

- ・企業訪問等による立地環境のPR
- ・市内外企業の立地等に対する支援

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
企業立地件数	7件/年	5年間で35件

③ 若者、女性、高齢者等の活躍促進

- ・若者の雇用促進、就業を中断していた女性や高齢者の再就職等の支援
- ・障害者や高齢者、ひとり親家庭の母等を雇用した事業主に対する奨励金の支給

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
本市の助成金を活用して雇用される人数	426人（H26）	5年間で2,100人

⁶ 古い建物の機能を今の時代に適した在り方に変えて、新しい機能を付与すること。

⁷ 例えば農業者が、農産物の生産（第一次産業）だけでなく、食品加工（第二次産業）、流通・販売等（第三次産業）に主体的かつ総合的に関わることで、高付加価値化を図るもの。

⁸ 設立して間もない新企業に、経営技術・資金・人材などを提供し、育成すること。

(2) 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」

《基本的方向》

少子化の大きな要因と言われる「未婚化・晩婚化」を解消するため、就業支援や貧困対策などにより若い世代の経済的な安定に取り組むとともに、若者への意識啓発を図りながら、結婚を希望する人たちに対して支援を行います。

また、「子育てをするなら鹿児島市」を目指す取組を継続し、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援に努め、次代を担う子どもたちが健やかに育ち、子育てに喜びを感じられる環境整備を進めるとともに、ワーク・ライフ・バランス⁹の普及促進を図るなど、子育て世帯の様々なニーズを踏まえた施策を展開します。

《主な施策と重要業績評価指標（KPI）》

(1) 若い世代の経済的安定

① 若者の就業支援

- ・若者の就職・起業、人材育成の促進

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
トライアル雇用 ¹⁰ 支援金を活用して雇用される若年者等の人数	134人（H26）	5年間で700人

② 貧困の世代間連鎖の解消

- ・ひとり親家庭や生活困窮世帯の若者等の就労活動と子どもの学習の支援

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
就労支援した若者等の就職者数	—	5年間で65人

(2) 結婚の希望の実現

① 次世代を担う若者への意識啓発

- ・結婚、妊娠、出産、子育てに対する気運の醸成

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
ライフデザインセミナー参加者数 「この地域で子育てをしたい」と思う親の割合	— 93.1%（H26）	4年間で1,600人 95%

② 結婚への支援

- ・出会いの場の提供、民間の婚活事業への支援の検討
- ・新婚世帯等の市営住宅への入居支援
- ・結婚相談所における結婚のあっ旋

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
婚活事業への参加者の満足度	—	90% 80%

⁹ 「仕事と生活の調和」。国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

¹⁰ 職業経験が少ないことなどから就職が困難な求職者が、公共職業安定所の紹介により、常用雇用への移行を前提として、原則3か月間試用雇用される制度

(3) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

- ・子育て世代包括支援センター¹¹を中心とした継続的な支援
- ・不妊治療に対する助成

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (H31)
妊娠出産について満足している者の割合	84.1% (H27) 55% (H26)	85% 70%

(4) 子育て支援の充実

① 子育て支援施設の整備・充実

- ・親子つどいの広場などの整備
- ・認可保育所等の整備促進
- ・認可外保育施設に対する助成

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (H31)
保育所等の待機児童数	47人 (H26)	0人

② 放課後における児童の健全育成

- ・児童クラブの計画的な設置
- ・新・郷中教育推進事業の拡充

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (H31)
児童クラブの待機児童数	171人 (H26)	0人

③ 子育て世帯への経済的支援

- ・こども医療費の助成対象の拡大 (小学6年生→中学3年生)
- ・多子世帯への助成
- ・就学・通学の援助、奨学資金の貸付
- ・子育て世帯向けの市営住宅の整備

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (H31)
出生数に占める第3子以降の割合	19% (H25)	20%

(5) ワーク・ライフ・バランスの普及促進

- ・事業所へのワーク・ライフ・バランス推進の広報啓発
- ・男女共同参画センターにおける啓発情報誌の発行や両立支援セミナーなどの開催

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (H31)
男女共同参画センターにおけるワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会・講座の受講者数	472人 (H26)	5年間で1,500人

¹¹ 妊娠期から子育て期まで総合的相談支援を提供するワンストップ拠点

(3) まちの魅力を「みがく」

《基本的方向》

都市の魅力にさらなるみがきをかけるため、食の都づくり、歴史や自然等を生かした観光の振興、花と緑の回遊空間づくり、潤いのある都市景観の形成などに取り組み、鹿児島オリジナルの魅力の向上を図ります。

また、集客力・回遊性の向上や新たな都市拠点の形成などにより、まちなかのにぎわいを創出します。

《主な施策及び重要業績評価指標（KPI）》

(1) 鹿児島オリジナルの魅力向上

① 食の都づくり

- ・食品関連事業者の育成支援
- ・民間団体等が実施する食に関するイベントの拡充・促進

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
民間主体の新たな食のイベント数	—	5年間で4件

② 歴史、自然等を生かした観光の振興

- ・明治維新150周年 **カウントダウン**事業の実施
- ・NHK大河ドラマ「西郷どん」と連携した取組の推進
- ・維新ふるさと館の展示更新
- ・鶴丸城御楼門の観光資源としての活用 **復元への支援**
- ・東京オリンピック・パラリンピック等の **事前合宿**の誘致
- ・鹿児島マラソンなどスポーツ・ツーリズムの推進
- ・ **プロスポーツチームの育成支援と競技場などの施設整備**
- ・グリーン・ツーリズムの推進
- ・平川動物公園の環境整備
- ・かごしま水族館の展示更新
- ・桜島港フェリー施設の整備による観光客受入体制の充実

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
入込観光客数	950万人	1,050万人

③ 花と緑の回遊空間づくり

- ・鹿児島駅周辺や市立病院跡地への「都市の杜」の整備
- ・城山公園自然の森の再生、武岡公園等の整備

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
都市公園の市民一人当たり面積	7.62㎡（H27）	7.77㎡

④ 潤いのある都市景観の形成

- ・景観形成重点地区の指定に向けた地域住民等との協働による取組の推進
- ・景観まちづくり活動団体の活動等への支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (H31)
景観形成重点地区	2 地区	5 地区

(2) まちなかのにぎわい創出

① 集客力・回遊性の向上

- ・ウォーターフロント地区への路面電車観光路線の新設の検討
- ・天文館ミリオネーションなどイベントの充実
- ・コミュニティサイクル「かごりん」の**利便性等の向上** **利用促進**

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (H31)
中心市街地の歩行者通行量	16 万人	17.1 万人

② 新たな都市拠点の形成

- ・鹿児島駅周辺地区における交通結節機能の強化や魅力ある都市拠点の形成
- ・本港区における集客力のある施設の整備促進
- ・中央町 19・20 番街区や千日町 1・4 番街区における市街地再開発の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (H31)
J R鹿児島駅の乗降客数	121.4 万人 (H24)	122.5 万人以上

4. 適応戦略

(1) ひと・まちを多彩に「つなぐ」

《基本的方向》

都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成や、ストックマネジメント¹²の強化などにより、人口減少等を見据えた持続可能なまちづくりを進めるとともに、地域コミュニティの形成、協働によるまちづくりに取り組み、市民一人ひとりが力を発揮し、互いに支え合う温もりのある地域社会を形成します。

また、移住希望者の多様なニーズに対応した支援に取り組み、本市への移住を促進するほか、国際交流の推進や、国内の都市との多様な交流・連携を進めます。

《主な施策及び重要業績評価指標（KPI）》

(1) 人口減少等を見据えた持続可能なまちづくり

① 都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成

- ・立地適正化計画の策定
- ・公共交通ビジョンの見直し
- ・公共交通不便地対策の拡充

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
「日常生活における生活利便施設が整備されている」と感じる市民の割合	68.7%（H28）	71.0%
公共交通不便地対策の実施地域数	12 地域（H26）	16 地域

② スtockマネジメントの強化

- ・公共施設等の計画的な更新・長寿命化
- ・空き家等の対策の強化
- ・良質な住宅ストックの形成の促進
- ・団地再生の推進

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定・改定数	—	5 件
危険空き家の解体への助成件数	20 件（H26）	5 年間で 144 件

(2) 互いに支え合う温もりのある地域社会の形成

① 地域コミュニティの形成

- ・市内全域における地域コミュニティ協議会の設立

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
地域コミュニティ協議会数	3 団体（H26）	79 団体

¹² 既存の施設（ストック）を有効に活用し、長寿命化等を図る体系的な手法のこと。

② 協働によるまちづくり

- ・ N P O 等の育成・支援、連携強化など市民活動の促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (H31)
市内の N P O 法人数	396 団体 (H26)	420 団体

(3) 移住の促進

- ・ ワンストップ型 P R ツールの制作・情報発信
- ・ 移住相談窓口の設置及び関係機関との連携強化
- ・ 移住支援制度の整備・拡充

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (H31)
本市への移住相談件数	—	100 件／年

(4) 都市間の交流・連携

① 国際交流の推進

- ・ 姉妹友好都市等との交流の推進
- ・ 市民レベルの交流の促進
- ・ 県と連携した国際交流センターの整備

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (H31)
国際交流事業への参加者数	11,523 人 (H26)	12,700 人

② 国内の都市との多様な交流・連携

- ・ 四都市連携（本市及び熊本市、福岡市、北九州市）の強化
- ・ 松本市や札幌市、渋谷区等との交流の充実

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (H31)
都市間連携に係る実施事業数	19 件 (H26)	25 件

重点戦略（１）「世界基準の観光地域づくり」

<関連する基本目標>

1. しごとで活力を「つくる」

3. まちの魅力を「みがく」

日本列島をつなぐ新幹線の南の発着点であり、東アジアに近接する陸・海・空の交通結節点でもある本市にとって、観光関連産業の発展や成長は重要です。地域経済のさらなる活性化のためには、観光を持続性のある地域ビジネスとして、より発展させていくことが必要不可欠と言えます。

平成 26 年の本市観光統計では、宿泊観光客数が 336 万 6 千人と前年を上回りましたが、とりわけ外国人宿泊観光客数が 12 万 6 千人で前年比 31.3%増と大きく伸びており、インバウンド¹³が大きな可能性を秘めています。

このような中、本市では「旧集成館関連遺産群」を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録され、また、「桜島・錦江湾ジオパーク¹⁴」の世界ジオパーク認定に向けて取組を展開しており、これらを絶好の機会として、特に外国人宿泊観光客数の拡大に向け、戦略的かつ広域的に取り組むため、鹿児島観光コンベンション協会¹⁵の組織体制の充実・強化並びに民間との連携の強化を図り、ストーリー性を持った魅力あふれる世界基準の観光地域づくりを進め、若者にとって魅力的な雇用の場を創出するとともに、交流人口の増加による地域経済の活性化を図ります。

主な施策及び重要業績評価指標（KPI）

(1) 世界に誇りうる地域資源の活用

- ① 世界文化遺産の活用
- ② JR磯駅の設置に関する検討
- ③ 世界ジオパーク認定に向けた取組の推進

(2) 外国人観光客の誘致・受入体制の整備

- ① 鹿児島観光コンベンション協会の組織体制の充実・強化
- ② 東アジア等に向けた観光プロモーションの推進
- ③ 外国人観光客の受入体制の充実

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
外国人宿泊観光客数	12 万人 (H26)	26 万人 22 万人

¹³ 外から入ってくる旅行、一般的に訪日外国人旅行を指す。海外旅行はアウトバウンド（outbound）という。日本ではアウトバウンドに比べ、インバウンドの数が著しく少ないことから、2003 年に国は「外国人旅行者訪日促進戦略」を掲げ、現在は「訪日旅行促進事業（ビジット・ジャパン事業）」が行われている。

¹⁴ ジオ（地球）に関わる自然遺産（地層・岩石・地形・火山・断層など）を含む自然豊かな「公園」のこと。

¹⁵ 平成 25 年 4 月から公益財団法人。平成 7 年 4 月に、社団法人鹿児島市観光協会と財団法人鹿児島コンベンションビューローが再編一体化して設立。鹿児島市と鹿児島県が有する文化的・社会的・経済的特性を生かし、観光客やコンベンション（国内外の人が集まる各種大会や会議、見本市、イベントなどの催し）の誘致などに関する事業を行っている。

重点戦略（２）「健“高”医“良”都市の創造」

<関連する基本目標>

1. しごとで活力を「つくる」

2. 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」

4. ひと・まちを多彩に「つなぐ」

超高齢社会の進行が見込まれる中においては、誰もが生きがいを持って健やかに暮らせる地域社会の創造を目指していくことが重要です。

また、本市産業の特性を見ると、ウェイトの高いサービス業の中でも、特に「医療・福祉業¹⁶」の集積が厚く、常用雇用者数の推移も、平成 24 年が約 3 万 9 千人となり、平成 16 年と比べ約 1.5 倍と大きく増加しています。経済振興の観点からも、この分野に重点を置いた取組を進めていくことが有用です。

本市の豊かな地域資源や充実した都市機能を活用しながら、本市の基盤産業¹⁷の一つである医療・福祉業を生かした健康分野に関する新たな産業の創出、さらには民間主導による生涯活躍のまち（CCRC¹⁸）構想の検討に取り組むとともに、医療・介護の施設や体制の充実などを通して、市民が、高い健康水準を保ちながら生き生きと暮らし、併せて、良好な医療・介護サービスを受けることができる**健“高”医“良”都市の創造**を図り、これにより、女性や若者の雇用の場の確保にもつなげていきます。

主な施策及び重要業績評価指標（KPI）

(1) 健康と生きがいを実感できる市民生活の提供

- ① 健康分野に関する新たな産業の創出
- ② 生涯活躍のまち（CCRC）構想の検討
- ③ 地域包括ケア¹⁹の推進
- ④ 民間医療機関等との連携強化

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
新たなヘルスケアビジネスの展開に取り組む事業者数	8 事業者（H26）	5 年間で 40 事業者
介護保険サービスの総給付費に占める 在宅サービス費の割合	51.7%（H26） 53.1%（H27）	55.5% ²⁰

¹⁶ 医療、保健衛生、社会保険、社会福祉及び介護に関するサービスを提供する産業

¹⁷ 域外を主たる販売市場とした産業のことで、一般的には、農林漁業、製造業、宿泊業等が該当する。ここでは、地域の稼ぐ力を示す特化係数が 1 を超える産業のこと。

¹⁸ 「Continuing Care Retirement Community」の略称。米国で積極的に取り組まれているもので、日本版 CCRC 構想は、「東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要な医療介護を受けることができる地域づくりを目指すもの」とされる。「まち・ひと・しごと創生基本方針 2015」において、積極的に推進するものとして掲げられた。

¹⁹ 地域の高齢者に対し、介護・医療サービスのほか、見守りなどの様々な生活支援を包括的、継続的に提供すること。

²⁰ 現行の鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画（計画期間：平成 27～29 年度）をベースに推計した数値であり、次期計画策定時に見直す可能性がある。

重点戦略（3）「大学との連携強化とふるさと教育の推進」

＜関連する基本目標＞

1. しごとで活力を「つくる」

4. ひと・まちを多彩に「つなぐ」

地方に魅力ある雇用の場が少ないこと等を背景に、若い世代が大学等の卒業時に大都市圏へ流出しており、地元への定着やUターンを図るためには、雇用環境の改善はもとより、生まれ育った本市の風土を愛し、地域に貢献したいという郷土に対する愛着心を育むことが重要です。

本市と協定を締結している大学と、それぞれの特色を生かした連携事業をはじめ、市内の6つの大学と連携しながら、歴史、伝統や自然という豊富なフィールド²¹の下で、学生の主体的なまちづくりへの参画や地域を学ぶ活動を通して、若者定着に向けた取組等を推進します。

また、小学校から高等学校までの各ステージにおいて、郷土の歴史や偉人、先人等を教材にした地域への理解を深める取組や、まちづくりについて夢やアイデアを出し合い、意見交換を行う取組も進め、「ふるさと・鹿児島」への誇りと愛着の心を育みます。

これらを通して、まちづくりの担い手となる人材を育成するなど、大学との連携強化とふるさと教育を推進し、若者の定着を目指します。

主な施策及び重要業績評価指標（KPI）

(1) 大学との連携強化

- ① **大学等の特色を生かした共同研究・連携による各種施策の実施**~~協定を締結している大学（鹿児島大学、鹿児島国際大学、鹿児島女子短期大学）との各種連携事業の推進~~
- ② **学生が主体的に地域を学ぶ活動への支援やまちづくりへの関心を高める場の創出**
- ③ **市内の大学が推進するCOC事業²²との連携**

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
市内大学生の県内就職率 ²³	61.7%（H26）	5年間で8%増

(2) ふるさと教育の推進

- ① **郷土教材の活用や地域人材等の授業への参画**
- ② **人材育成プログラムの策定・実施**
- ③ **職場体験活動の充実**
- ④ **まちづくり提言の機会の創出**

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
郷土教育に係る体験活動の実施率	90.6%（H26）	100%

²¹ 教育分野・領域

²² 文部科学省が推進する「地（知）の拠点整備事業」。大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としている。

鹿児島県では、平成26年度に鹿児島大学が「火山と島嶼を有する鹿児島の地域再生プログラム」事業で採択を受けており、同大学と鹿児島県及び県内自治体（鹿児島市、薩摩川内市、与論町）との組織間協働連携、COC活動成果を活用した「地域と共に社会に貢献する総合大学」にふさわしい教育カリキュラムの構築と地域志向型人材養成、生涯学習の場の充実と養成した地域志向型人材による持続的地域再生を目指している。

²³ 『地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）』に参加している、鹿児島大学など5大学の値

重点戦略（４）「連携中枢都市圏の形成」

<関連する基本目標>

1. しごとで活力を「つくる」

2. 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」

3. まちの魅力を「みがく」

4. ひと・まちを多彩に「つなぐ」

人口減少や高齢化の進行により、地域コミュニティや生活基盤の存続の危機が懸念されています。このような状況下にあっても、地域経済を持続可能なものとし、安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするため、人々の暮らしを支え、経済をけん引していくのにふさわしい核となる都市やその圏域を戦略的に形成し、その上で、人々の暮らしを支える行政サービスを提供していくことが必要です。

地域の活力を持続し、住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするためには、一定の人口規模の確保だけでなく、地域経済や都市機能、生活関連機能の面においても、日常生活圏を形成する都市間の連携が重要です。

県都として、県全体の発展をけん引する役割も担っている本市と周辺自治体との連携を高め、新たに**連携中枢都市圏²⁴**を形成し、活力ある社会経済の維持を目指します。

主な施策及び重要業績評価指標（KPI）

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

- ① 産学金官民が一体となった協議会の立ち上げ
- ② 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
- ③ 戦略的な観光施策の展開

(2) 高次の都市機能の集積・強化

- ① 高度な医療サービスの提供
- ② 高度な中心拠点の整備、広域的公共交通網の構築

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- ① 地域医療・介護・福祉など生活機能の強化
- ② 災害対策における連携強化
- ③ **住民等の交流や圏域外からの移住の促進**

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（H31）
連携事業数	—	5年間で 25事業 20事業

²⁴ 連携中枢都市（①地方圏の指定都市、中核市であること、②昼夜間人口比率が概ね1以上であることの2つの要件を満たす都市）となる圏域の中心都市と、経済、社会、文化または住民生活等において密接な関係を有する近隣の市町村が、連携協約（地方自治法第252条の2第1項）を締結することにより形成される。